

平成29年11月13日

役員会議事録

目的：前回役員会で承認されたSSH継続のための卒業生アンケート協力が完了した。その報告会を兼ねて役員会が開催された。今回の役員会ではこれまでに提案された事業案の整理、及び、実現されていないものの実現に向けた計画について話し合いが行われた。幾つかの事業案については学校側へ提案書としてまとめて提出する予定である。

審議事項：

- ・アンケート協力完了報告
- ・事業案の整理、実現に向けた計画

アンケート協力完了報告：

学校側から依頼されていた卒業生アンケート通信費支援が完了した。金額は以下の通り：

82円切手×2（往復）×1371人=224844円

また四葉会ホームページでアンケートを受け取った会員向けページを作成した。アンケートの集計結果、及び、効果については学校側からの報告書が提出され次第掲載予定。

事業案の整理、実現に向けた計画：

これまでに提案（実現）された事業案について整理する。また実現されていないものについては実現に向けた今後の会の活動計画についても記載する。

文化祭『四葉会賞』設置：

提案：文化祭において会から賞を与える。会員による投票を行い、全体投票表彰と共に、表彰を行う。商品はクラスや部活などで分割しやすいお菓子などとする。2018年度文化祭において実施予定。

部活動・研究活動支援：

提案：部活動、及び、研究活動支援を行う。当初、人的、金銭的支援を予定したが、予算配分が難しいことなどから、人的支援を行うことを当面の目標とする。具体的には人的支援を求めている部活動、研究活動からの要請を受け、求める人材、予算の有無を含めた情報をホームページへ記載を行う。これまで口コミで行われていた学校と会員との結びつきを円滑に行うこと目標と

する。実現に向け、現状の確認と、意識調査を兼ねて科学部物理班に於いて SSH 予算を利用した TA による指導を視察する予定。2018年4月からの運用を目標。

短期集中講座支援 :

提案：短期集中講座において講演を行う。2017年12月短期集中講座において講演『先輩は語る』を実施予定。

課題研究支援 :

提案：課題研究において研究支援を行う。本事業案は相手が正規の授業である為、どのような支援が可能であるか、学校と協議中である（現在、各分野に1名、年回8回程度の人材支援を学校側へ提案中。）。実現に向け、現状の確認と、意識調査を兼ねて2018年2月に行われる課題研究発表会を視察する予定。2018年4月からの運用を目標（難しい事業の為、延期の可能性あり）。

研究会開催（予定）：

提案：研究会を開催する。

目的：高大社の連携、交流。特に会員の生涯研究支援。

対象：高校生（都立科学技術高校学生以外も可）、及び、会員、招待講演者。

条件：異なる分野、学年の人間にも楽しめる内容とすること。

分野：理工学全般。

方法：ポスター発表、口頭発表

その他：レジメ集の発行、ポスター賞の設置などを予定

開催に向け、会場、プログラムの参考の為、2017年11月23日に学校で開催される総合文化祭（総文祭）を視察する予定。2018年1月の開催を目標。

結果：承認

STリポジトリの設置：

提案：研究資料データベース、STリポジトリの設置を行う。学内向けにローカルネットワーク上にブログ形式のシステムを設置し、課題研究、部活動、スーパープロジェクトなどの研究資料を収集する。学校側との協議において継続の難しさが指摘された。継続の為の仕組みづくりが必要である。実現に向け、上記研究会レジメ集を収集するリポジトリとして、試験運用を開始予定。

20周年記念行事：

提案：開校20周年記念行事を行う。詳細は議論中。